



がしの木



第28号

みんなの笑顔



ヘッドライン・ニュース

- ◆ **令和8年度 一般会計**……………②～③
- ◆ **3月・1月会議のお知らせ**……………④～⑤
- ◆ **公の施設に係る指定管理者の指定**…⑥
- ◆ **鏡野町議会基本条例を改正**……………⑦
- ◆ **常任委員会報告**……………⑧～⑨
- ◆ **町政を問う 一般質問**……………⑩～⑮
- ◆ **ようやりようるなあ～・議会用語・かがみ君の日記・編集後記**……………⑰



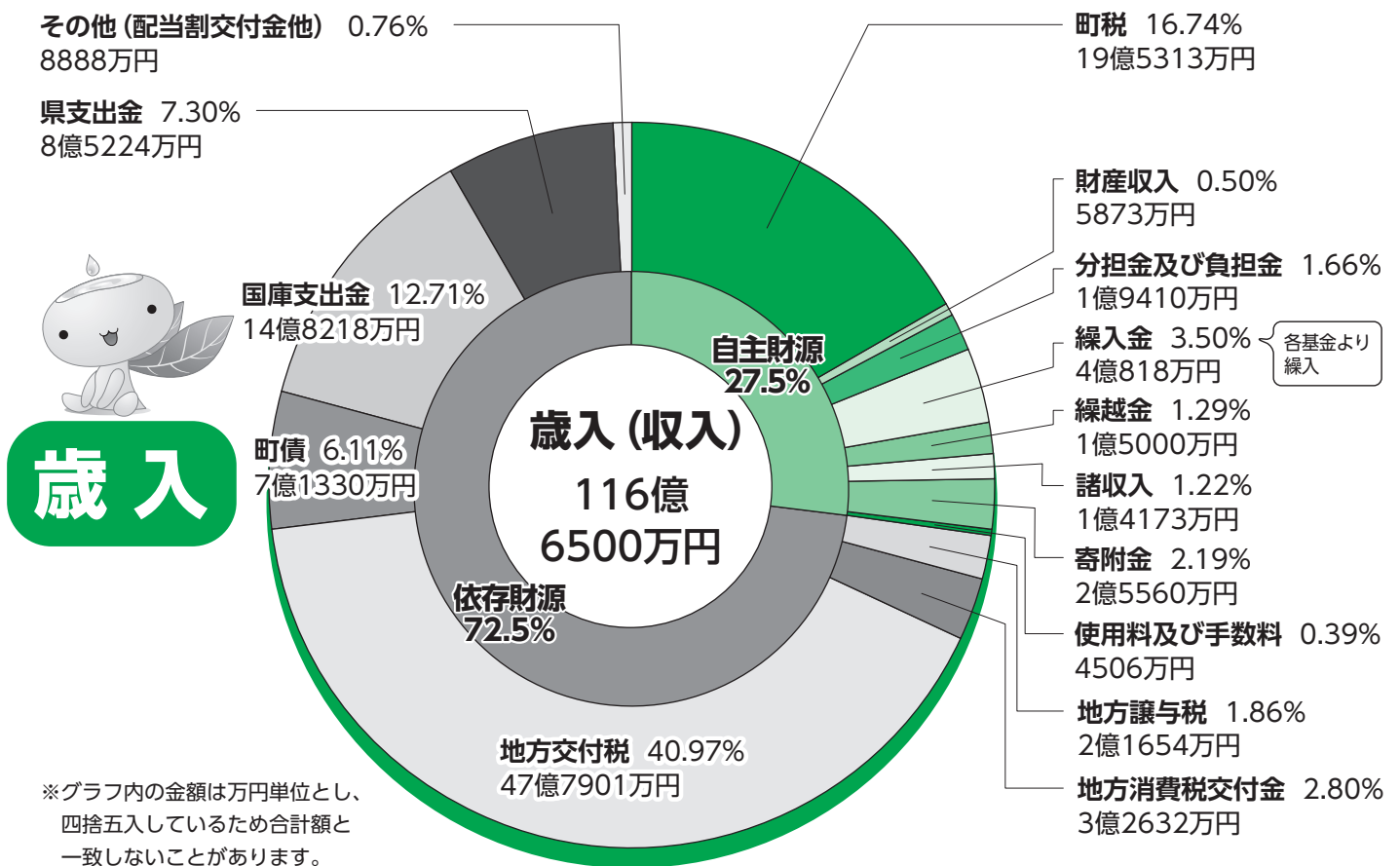
おゆりん



みずりん

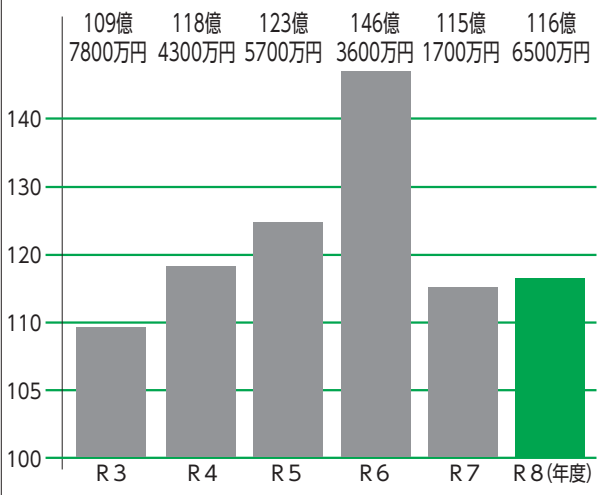
持続可能・健全な財政運営に取り組む

経費削減と効率的な運営・歳入確保に努める



※グラフ内の金額は万円単位とし、四捨五入しているため合計額と一致しないことがあります。

一般会計予算の推移 (当初)



※令和3年・7年度は改選のため、骨格予算です

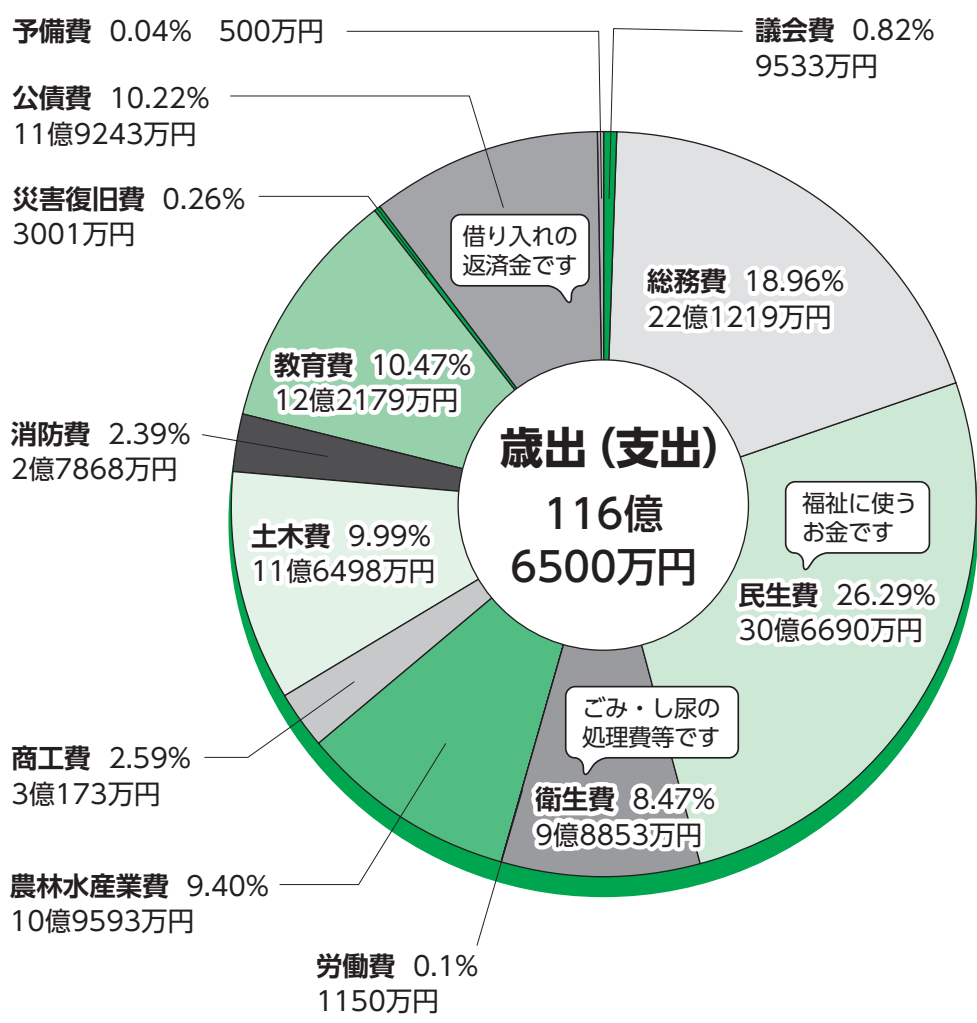
公営企業会計	国民健康保険病院事業会計 (収益的収支)	国民健康保険病院事業会計 (資本的収支)	水道事業会計 (収益的収支)	水道事業会計 (資本的収支)	下水道事業会計 (収益的収支)	下水道事業会計 (資本的収支)
39億1465万円	14億1107万円	1億6368万円	5億9980万円	3億253万円	7億9919万円	6億3837万円

令和8年度 一般会計

116億6500万円

事業の選択と集中予算

厳しい財政運営を見込んで、より一層の



歳出

令和8年度 各会計当初予算 歳出 (支出)

会計区分	一般会計	特別会計	津山・富線 共同バス 運行事業 特別会計	奨学会 特別会計	国民健康保 険事業勘定 特別会計	国民健康保 険直営診療 施設勘定 特別会計	後期高齢 者医療 特別会計	介護保険 特別会計	第7財産区 特別会計	羽出財産区 特別会計	富財産区 特別会計
予算額	116億 6500万円	37億 6390万円	951万円	2558万円	14億 3540万円	2億 2406万円	2億 8805万円	17億 5224万円	221万円	915万円	1770万円

決まりました

令和8年3月3日から23日まで3月会議が招集され、一般会計当初予算116億6500万円や、条例の制定1件、条例の全部改正1件、一部改正6件、条例の廃止1件、計画の策定1件、協定の変更1件、指定管理者の指定32件、最終日に条例の改正2件、任命同意2件が提出され、一部の議案に対して賛否の討論がありました。

鏡野町国民健康保険税条例の一部改正について

賛成多数で可決！

国民健康保険税に「子ども・子育て支援納付金課税額」を創設し、所得割、被保険者均等割、18歳以上被保険者均等割及び世帯別平均割により課税する。

反対討論／光吉議員

社会保険は保険料負担の見返りに給付を受けるもので、医療保険料は医療費のために集めるもの。「子ども・子育て支援」のための追加徴収は、社会保険制度の趣旨を逸脱し反対。



※原議長は採決に加わりません

ふるさと納税推進事業費

1億2,548万円

◎かがみのふるさと応援寄付金（返礼品代、事務手数料等）を募集するための費用

農業振興センター事業

2,256万円

◎夢アグリ鏡野の農業機械について計画的に更新を行う事業（上齋原地域へ進出するための農業機械購入）

町観光団体事業

3,492万円

◎新しい地方経済・生活環境創生交付金事業

1月会議で決まりました

1月30日に随時会議が再開され、専決処分の承認を求める補正予算（第6号）及び、一般会計補正予算（第7号）を審議し全会一致で可決されました。

衆議院議員選挙費

1,410万円

◎2月8日の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に要する経費

かがみの生活応援給付事業

1億4,721万円

◎物価高騰の影響を受ける住民生活の負担を軽減することを目的に、対象者11,903人に12,000円を給付

公の指定管理者の指定について

賛成多数で可決！

32施設について再度地元自治会等と10年間の管理運営協定を締結する。

反対討論／花房議員

10年の契約を、決まりごとのように締結しているが、行財政改革のなか譲渡など見直すことも考えていないので指定管理施設の全てに反対する。



※原議長は採決に加わりません

鏡野町マイナポータルシステム事業

206万円

◎マイナンバーカードを利用して『書かないワンストップ窓口』を推進する事業

がん検診等事業費

3,497万円

◎健康推進法に基づく事業。健康相談・健康教育・訪問指導・がん検診。町独自の事業

婚活推進事業

97万円

- ◎交際のきっかけとなる出会いの場を提供し恋愛・結婚へと進展することで少子化の原因となる未婚化・晩婚化に歯止めをかける事業

結婚新生活支援事業

420万円

- ◎新婚世帯に対して、結婚に伴う新生活の初期費用の支援。若年世帯の転入や定住を推進する事業

めくもりの木で家づくり推進事業補助金

1,200万円

- ◎鏡野町内に自ら居住するために新築される一戸建て住宅を取得する者への補助金

中学校支援教員配置事業

2,874万円

- ◎中学校の教科指導、生活指導、特別支援、不登校解消支援を行う講師に係る人件費

小学校支援教員配置事業

9,993万円

- ◎小学校の教科指導、生活指導、特別支援を行う講師に係る人件費
- ◎放課後サポート事業に係る費用

小中学校
図書館蔵書管理システム構築事業

995万円

- ◎学校図書館蔵書管理システムを構築し、学校図書の数算化による管理の実施を行う

広域保育事業費

8,788万円

- ◎未就学児が広域入所により町外の保育園等を利用した場合の委託料（子どものための教育・保育給付、地域型保育給付）

3月会議で

鏡野町長等の給与に関する条例の
一部改正について

反対多数で否決！

行財政改革のため令和8年度の特別職（町長・副町長・教育長）の給与支給額を減額する条例の一部改正案が提出された。

賛成討論／仲西議員

これから行財政改革を進める中で、やろうとする姿勢に賛成する。

反対討論／植木議員

予算決算常任委員会において、特別職の人件費の抑制や見直しはなかった。行財政改革を進めていくのであれば、他の事業の見直しをすることが最優先に思う。特別職の給与減額は必要ないとする。

反対討論／片田議員

行財政改革する中で職員にも危機感を持ってもらうための減給だと言われたが、今必要なのは、職員と共に議論しまちづくりをすることではないのか。今の時点で減給する必要はない。

反対討論／鈴木議員

行財政改革に取り組む姿勢として、まず減額をしてからではなく、町長のトップセールスで交付金等を取ってきていただきたい。減額、減額とマイナスの方向を向いて仕事をするのではなく、明るく前を向ける行財政改革を行っていただきたいので反対する。



※原議長は採決に加わりません

林業振興促進対策事業

2,899万円

- ◎森林施業の効率化と協議活動推進のため、林業者及び団体に対して補助を行う

中山間地域等直接支払交付金事業

8,370万円

- ◎中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から直接支払交付金を交付する事業
鏡野23地区・奥津26地区・上齋原11地区
富23地区 計83地区



公の施設に係る指定管理者の指定

指定管理期間 令和8年4月1日から令和18年3月31日

	公の施設の名称	場 所	指定管理者となる団体
奥津地域	下斎原コミュニティハウス	鏡野町下斎原101-1	下斎原自治会
	長藤コミュニティハウス	鏡野町長藤191-1	長藤自治会
	小畑コミュニティハウス	鏡野町奥津川西20	小畑部落
	細田コミュニティハウス	鏡野町奥津川西831-1	細田自治会
	川西コミュニティハウス	鏡野町奥津川西300-1	奥津川西自治会
	奥津コミュニティハウス	鏡野町奥津475-14	奥津自治会
	養野コミュニティハウス	鏡野町養野698	養野自治会
	井坂コミュニティハウス	鏡野町井坂284-2	井坂部落
	杉コミュニティハウス	鏡野町杉414	杉部落
	西屋コミュニティハウス	鏡野町西屋212	西屋自治会
	女原コミュニティハウス	鏡野町女原46	女原みどりの会
	箱コミュニティハウス	鏡野町箱131	箱部落
	至孝農コミュニティハウス	鏡野町至孝農183-2	至孝農自治会
	阿曾コミュニティハウス	鏡野町羽出140	阿曾自治会
	泉源コミュニティハウス	鏡野町羽出1486	上分自治会
	西谷上コミュニティハウス	鏡野町羽出西谷1441	西谷上自治会
西谷下コミュニティハウス	鏡野町羽出西谷378	羽出西谷下自治会	
中分コミュニティハウス	鏡野町羽出1056	中分自治会	
上齋原地域	上齋原第一区集会所	鏡野町上齋原124-5	上齋原第1区
	上齋原第三区集会所	鏡野町上齋原930	上齋原第3区
	平作原老人ふれあいセンター	鏡野町上齋原1879-40	上齋原第5区
	赤和瀬老人憩いの家	鏡野町上齋原1827-1	上齋原第6区
	小林老人憩いの家	鏡野町上齋原1933	上齋原第7区
	遠藤老人憩いの家	鏡野町上齋原2166	上齋原第8区
富地域	清水集会所	鏡野町富西谷722-3	清水地区
	恵堂集会所	鏡野町富東谷1218-1	重定・山口地区
	余川集会所	鏡野町富西谷2007	余川以北地区
	大原集会所	鏡野町富東谷58	大原地区
	コミュニティ高森	鏡野町富東谷672	馬場以北地区
	大倉いこいの家	鏡野町富西谷1503-2	大倉部落
	篠坂いこいの家	鏡野町富西谷1341-2	篠坂部落
	山村文化交流施設「五葉邸」	鏡野町富西谷252番地	宮原・白賀地区

鏡野町議会基本条例を改正しました

鏡野町議会基本条例は、平成25年の制定以来、議会運営の基本指針として機能してまいりましたが、議長からの諮問に基づき、社会情勢の変化、議会運営の実態を踏まえ、議会運営委員会で慎重に見直しと検討を重ねました。

◆改正事項

(1)第2条第3項の追加（災害時の対応）

- 背景
- ・大規模災害の頻発
 - ・災害時も議会機能の維持（BCP〔業務継続計画〕の策定）が必要

改正内容

「議会は、大規模災害等が発生し、又は発生するおそれがある場合においても、議会機能を的確に維持しなければならない。この場合における議会の行動基準その他必要な事項は、別に定めるものとする。」を追加しました。

(2)第5条第3項の字句整理

改正内容

- ・附属機関への参加に関する「役職としての」という文言を削除し、簡潔明快な表現に整理しました。

(3)第12条の改正（ハラスメント防止条項の追加）

- 背景
- ・社会的にハラスメント防止への関心が高まっている
 - ・議会基本条例に明確な規定が必要

改正内容

- ・見出しを「議員の政治倫理等」に変更
- ・第3項「議員は、鏡野町議会ハラスメント防止条例を遵守し、議会内外においていかなるハラスメントも行ってはならない。」を追加しました。

(4)新第13条の追加（議決事件の拡大）

- 背景
- ・地方自治法第96条第2項の規定に基づく
 - ・議会の議決権の行使を明確化
 - ・議会の役割を強化

改正内容

- ・第1項「議会は、必要に応じて地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件の拡大に努めるものとする。」
- ・第2項「前項の議決すべき事件については、別に条例で定める。」を追加しました。

(5)新第14条の改正（見直し手続の明確化）

- 背景
- ・現行「一般選挙後、速やかに検討」は抽象的
 - ・定期的な見直しのタイミングが不明確

改正内容

- ・第1項「議会は、常に町民の意見、社会情勢の変化等を勘案し、2年ごとにこの条例の目的が達成されているかどうかを議会運営委員会において検討するものとする。」
- ・第2項「議会は、前項の規定による検討のほか、必要に応じて、この条例の改正を含む適切な措置を講ずるものとする。」を追加しました。

常任委員会報告

総務産業常任委員会

付託された議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◆公の施設に係る指定管理者の指定（32件）

◆鏡野町旅費支給条例の全部改正

◆鏡野町職員の給与に関する条例の一部改正

◆鏡野町火入れに関する条例の一部改正

林野火災警報及び林野火災注意報の発令中は火入れの許可をしないこと。
また火入れ中に発令された場合には速やかに消火すること。

◆定住自立圏形成協定の変更

子育て支援の充実として保育士資格取得支援を新たに追加する。障害者(児)支援体制の推進として強度行動障害への支援体制整備事業を追加する。

文教厚生常任委員会

付託された議案5件のうち4件は全会一致で、1件は反対がありましたが可決すべきものと決しました。

◆鏡野町立保育園条例の一部改正

◆鏡野町介護保険条例の一部改正

◆鏡野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆鏡野町上齋原親子ふれあい交流館条例の廃止する条例（有効活用のため、行政財産から使用方法を特定しない普通財産に変更）

◆鏡野町国民健康保険税条例の一部改正については、反対意見が出されましたが、賛成多数で可決しました。

国民健康保険税は、「被保険者の減少や医療費の増加によって、健全な財政運営が困難になっているので、将来にわたり制度を維持するため」という理由で、医療分・後期高齢者支援金分・介護保険分の税率と額が改正され、新しく「子ども・子育て支援金分」が追加されました。

予算決算常任委員会

付託された議案はいずれも全会一致で、可決すべきものと決しました。ただし、令和8年度鏡野町一般会計予算については、附帯決議を付けました。

- ◆鏡野町乳児等通園支援事業利用者負担金徴収条例の制定
- ◆鏡野町過疎地域持続的発展市町村計画の策定
- ◆令和7年度鏡野町一般会計補正予算(第8号)など補正予算 7件
- ◆令和8年度鏡野町一般会計予算など当初予算 13件

議第52号 令和8年度鏡野町一般会計予算に対する附帯決議

予算決算常任委員会は、令和8年度鏡野町一般会計予算について審査を行い、原案のとおり可決すべきものと決定した。しかし、審査の過程において、委員から強い懸念が示されたことから、本委員会として次のとおり決議する。



議会から見える鏡野中学校

記

第1 中学校支援教員配置事業について

常勤職員から非常勤職員への変更等に伴い、昨年と比較し大幅に減額(△1,895万2,000円)されているが、学校関係者等から意見聴取した結果、学校現場の実態と乖離があると認識している。

支援教員は、生徒の学習、生活を支える上で不可欠であり、その削減は教育環境の著しい悪化を招くおそれがある。

執行部は以下の対応を速やかに行うこと。

1. 岡山県による支援教員の配置決定が判明した後、必要な支援体制が確保できないと判断される場合には、早急に補正予算を編成するなど、必要な措置を講ずること。
2. 支援教員の確保に当たっては、異動・採用の時期的制約を踏まえ、速やかに候補者への働きかけを行い、令和8年4月からの学校運営に支障が生じないよう万全を期すこと。
3. 学校現場の声を継続的に聴取し、実態に即した支援体制の在り方を不断に検討し、その内容を議会に報告すること。

第2 学校図書館蔵書管理システム構築事業について

本事業は、退職した学校司書の代替措置としての側面があるが、こどもへの図書推薦や読書相談など、人ではできない役割があることを踏まえると、システムの導入のみで学校図書館の機能を代替することには限界がある。

学校図書館蔵書管理システムの構築(事業費995万6,000円)については、緊急性、必要性、費用対効果の観点から疑問の声が上がっており、現場の実態や町立図書館等との連携可能性について十分な検討がなされていないと認識している。

執行部は以下の対応を行うこと。

1. 事業実施に当たっては、学校現場の意見、要望を十分に聴取した上で、システムの内容及び仕様を精査すること。
2. こどもと本をつなぐ人的支援の重要性を認識した上で、学校司書の確保・配置についても併せて検討すること。
3. 国庫補助金の活用状況及び補助採択の見通しについて、議会に対して明確に説明すること。
4. 事業の進捗に応じて必要な見直しを柔軟に行い、その内容を議会に報告すること。

以上、予算決算常任委員会の総意として、執行部に対し強く求める。

令和8年3月16日

鏡野町議会 予算決算常任委員会

町政を問う

一般質問

ページ	議員名	質問内容
10	鈴木 大介	◎空き家対策について ◎第3次鏡野町総合計画について
11	花房 尚	①待機児童 ◎小学校の給食無償化 ◎後期高齢者医療制度 ◎高齢者等タクシー料金助成事業 ◎指定管理者等制度
11	難波 達男	①町長としての思い
12	藤田 照子	◎子どもの豊かな育ちの保障 ◎学校現場の実態を踏まえたICT活用を
12	光吉 準	①行財政改革について ◎子どもを性暴力から守るために
13	片田八重美	①町内の各学校における熱中症対策について ◎町民にわかりやすい情報提供を
13	牧田 俊一	①鏡野町の資産増加と費用削減に向けた取組について
14	仲西 祐一	①子どもたちが輝くまちづくりの取組について ◎鏡野町におけるDX推進について
14	植木 卓	①鏡野町の危機管理政策について
15	竹下 桂輔	①ふるさと納税推進事業と持続可能な運営体制の構築について ◎認定農業者や集落営農組織の実態と今後の展望
15	小椋 明美	①保育の質の維持と待機児童の解消

議会日よりには、1問のみ掲載しています。◎印のものは掲載していません。

質問 公共施設の在り方について見直しは



本町にとって喫緊の課題であると認識している

答弁 一問一答方式



鈴木 大介 [すずき だいすけ] 議員



問 健全な行財政運営の推進について少子・高齢化による人口減少、施設の老朽化、厳しい財政状況を鑑みて、公共施設の在り方について早急な見直しが必要だと思うが、今後の方針は。

答 町長

平成17年の町村合併までにそれぞれの町村で、文化施設、体育施設、観光施設、福祉施設等を整備しており、合併後は類似した施設を多く所有することとなった。全ての施設を維持管理していくには多額の経費を要し、老朽化に対する大規模改修工事や建て替えは町の財政に大きな影響を及ぼすものと認識し

ている。長期的な視点を持って、更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行うことを目的とし、鏡野町公共施設等総合管理計画、鏡野町公共施設個別計画、鏡野町学校施設長寿命化計画を策定し、取り組んできたが、廃止施設の取り壊しや有効活用等、計画どおりには進んでいない。

今後は、施設の利用状況や老朽化の状況、維持管理コスト等を総合的に判断し、あらゆる可能性を排除せず、統合、廃止を含め、指定管理制度や民間活力の活用等も検討し、健全な行財政運営を推進していく。

○議員は選挙区内にある者に対して、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状を出すことは禁止されています。

質問

保育士等の人材確保にどのような取り組みをしているのか



町長自ら、告知放送で町民の皆さんに保育士確保の協力をお願いしている

答弁

一問一答方式



花房 尚 [はなふさ ひさし] 議員

問 保育園の待機児童は、何名いるか。

町長

答 待機児童は、4月1日時点の人数を算定するため、現時点では答えられないが、昨年度と同様の人数（6人）になるのではないかと思う。

問 どの年齢層に待機児童がでているか。

町長

答 令和7年度は、0歳児1名、1歳児5名で、3歳児未満の子供が待機児童となっている。

問 町内6園の各定員と通園予定児童数はいくらか。

町長

答 令和8年度の定員は、芳野こども園150人、かがみの中央こども園170人、鶴喜保育園90人、香南保育園40人、奥津保育園40人、郷幼稚園30人である。通園予定児童数は、約370人の見込み。

問 保育士等の人材確保に、どのような取組をしているか。

町長

答 保育支援システムの導入・ノンコンタクトタイム確保などによる働きやすい職場づくり、保育士採用試験の受験年齢引き上げ、町内園の魅力の情報発信、岡山県の各種保育士確保事業への参画、県内保育士養成施設へのチャリ配布や声掛け、保育士手当の引き上げなどを行ってきた。

令和8年2月には町長自ら、告知放送で町民の皆さんに、保育士確保の協力をお願いしている。



質問

鏡野町の財政健全化に向けての方針は



各種補助事業の見直しに着手・検討を始めている

答弁

一問一答方式



難波 達男 [なんば たつお] 議員

問 町として財政健全化に向けての対策は。

町長

答 本町の財政は、人口減少に伴う税収減と社会保障費や施設更新費の増加により、厳しさが増している。また、世界情勢や国の制度見直しの影響により先行きは不透明で、すべての事業について見直しを進めており、補助事業についても目的や効果等を踏まえ総合的に判断する。今後は「選択と集中」により重点化と効率化を図り、町民の声を反映したメリハリある行財政運営に努める。

問 財政の見直しは。

町長

答 総務課統括参事 今までと同じ事業を続けると歳出が増える見込みだが、歳入については交付税や税収の減収が見込まれるため持続可能な安定した行財政運営に努める。

問 補助事業見直しについて影響は。

町長

答 令和9年度までに見直しの検討を進めている影響については、それぞれの事業目的、公平性、財政負担等を考慮し検討する必要があるが皆様に理解をいただきながら判断をしていく。

問 今後の財政運営については。

町長

答 国に対しては、国庫補助金獲得に向けて頑張りたいと考えている。また財政運営については住民に迷惑をかけないようにと思うが、現在の補助事業について今後検討していく必要がある。



▲富振興センター

○議員は選挙区内にある者に対して、寄付をすることは禁止されています。



藤田 照子 [ふじた てるこ] 議員

質問 学校現場の実態を踏まえた ICT活用を



学校現場の声を丁寧に聞き、デジタルとアナログの強みを生かした教育を推進していく

答弁 一問一答方式

問 知・徳・体のバランスの取れた豊かな人間性を育むために特に大切にしている取組の紹介を。

答 教育長
読書活動やグループ学習、休み時間の運動場を利用した遊びや縄跳び、マラソン、地域の方々との交流による農業体験、里山での体験授業など学校独自で行っている。

問 全国学力調査では、ICT活用時間と学力の相関関係が見事に浮かび上がり、活用率が高いほど平均正答率が低くなるが、全く使用しない子どもより30分程度使用する子の方が高い結果が出ている。この結果をどう推察されるか。

答 教育長
自律的な活用が学力と深く関わるといふこと。30分以内で適切にコントロールできる力が備わっている現れた。

問 いろいろ困っている思春期のお子さんの話を聴く。乳幼児期から思春期を見通した子育てが必要ではないか。メディアに特化した取組は。

答 子育て支援課長
赤ちゃんのときからメディアとの接し方をできるだけ制限しながら育てていくことが大事。町内の保育園、こども園では、わらべ歌と絵本の取組に力を入れていく。遊び方などお母さんたちの悩みも聴き、運動や社会性を育む子どもとの関わり方を伝えていきたい。



質問 国の地方財政対策で、病院新設の建築単価が引上げられたが、病院建設を進められないか



それだけでは当初計画どおりの収支に収まらないと認識

答弁 一問一答方式



光吉 準 [みつよし ひとし] 議員

問 新年度予算について、最重点施策が移住・定住、人口減少対策で、重点施策として、子育て支援の充実、地域医療の推進、防災・減災の推進の3つを掲げている。一刻も早く病院に関して、もう一度検討し、前に進めていただきたい。

答 町長
今計画しているのが一般病床と療養病床で、療養病床を一旦見直さなければ、今後の経営自体にも困難を来す危惧がある。それも含めて見直しを早急に進め工事の着手に取りかかりたい。

問 新年度予算では様々な事業が縮小されたが、縮小を行う基準をどこに置いて進めたのか、一定割合の一律カットか。

答 町長
予算編成に当たっては、個々の事業について、その必要性、有効性、効率性、緊急

問 性等を総合的に勘案した上で判断を行い、一律カットという手法は取っていない。医療、福祉、教育、子育て、防災等の住民生活に直結する基礎的な行政サービスについては、その水準の維持を最優先とした。

問 中学校の教育指導員をカットする、時間もカットする。それは子育て支援の充実という町長の掲げる重点施策とは、ずれていないのではないか。

答 町長
全体の予算を組む段階において過去数年のデータを振り返り、支援員が5年ぐらい前から倍増しており、経常的経費の見直しも含めて着手した。今後必ず性を再度検証しながら、進めていきたいと思います。



▲鏡野病院の建設予定地

○議員は選挙区内の運動会やスポーツ大会への差し入れは禁止されています。

質問

6校の小中学校に、熱中症対策として 冷水器などを整備してはどうか



設置場所、維持管理、衛生面等を 考慮し財政部局と協議を進めたい

答弁

一問一答方式



片田 八重美 [かたた やえみ] 議員



問 岡山市では、市内125公立義務教育学校に4月から冷水器を順次設置するとある。以前、中学生と

答 教育長 毎日の健康観察により生徒の体調把握を行っている。水、保冷剤、水のう、イオン飲料を常備し、給水の声かけや補給を必要に応じて行い、安全対策に努めている。また、令和5年度に全学校で統一した「熱中症対策マニュアル」を作成し、対応にあたっている。

問 暑さは災害に匹敵し、命に直結する大きな問題だ。全ての学校で安心安全に勉強できる環境を整えることが大事。熱中症がイドラインは整っているか。

答 教育長 先進自治体の事例を参考に検討を進めたい。

問 全国では様々な取組がある。冷感タオルを下校時まで冷やす冷凍庫の設置など、冷水器は浄水機能付きなど、安全面も考慮する岡山市を参考にしたい。

答 教育長 現段階では、衛生面から冷水器は設置していない。今後は、他市町村の事例も参考にし、設置場所や維持管理方法、衛生面での安全確保等を含め、財政当局と協議を進めたい。

質問

各基金の運用・運営状況は



「鏡野町資金管理方針」に基づき 運用・運営している

答弁

一問一答方式



牧田 俊一 [まきた としかず] 議員

答 町長 各基金条例に基づき、合計25の基金を運用・運営している。基金全体では約90億円となり、定期預金が約3割・債券運用が7割となっている。

問 各基金の運用・運営状況の詳細事項は。



答 町長 ふるさと納税、企業版ふるさと納税、農産物の高付加価値化と鏡野町ブランドの確保等、町外からの資金流入も積極的に取り入れる。

問 歳入の財源確保には多様な戦略、柔軟な発想、規定路線の見直しによる新たな財源確保が必要だが、今後の取組は。

答 町長 金利上昇による各基金の運用・運営は、債券の償還日を迎える銘柄から定期預金へ移行を図り、安全性と流動性の均衡を図りながら、災害等が発生した場合等の財政出動に備えた適正化に努めている。

問 金利上昇による地方債現債額調の変動はどのようになるのか。

答 町長 近年、大型事業の実施に伴い、過疎対策事業債、災害対策債、合併特例債等の発行が増加している。今後、新たに借り入れる地方債の利率に影響が生じ、借入利息負担も増大する。金利動向を注視し、将来の負担が過度に集中しないよう、公債費の平準化に努めている。

問 各基金の運用・運営状況は。

答 町長 金利上昇による各基金の運用・運営は、債券の償還日を迎える銘柄から定期預金へ移行を図り、安全性と流動性の均衡を図りながら、災害等が発生した場合等の財政出動に備えた適正化に努めている。



仲西 祐一 [なかにし ゆういち] 議員

質問 鏡野中の問題への対策と指針策定は



運用指針を策定し、教育環境を整備していく

答弁 一問一答方式



問 鏡野中学校でいじめや授業妨害が深刻化しており、保護者からも不安の声が上がっている。本来、検証を担うべき「いじめ対策委員会」が規定通り開催されず、教育現場の実態が教育委員会に十分に共有されていないのではないか。教員が迷わず毅然とした対応を取れるよう、法的根拠に基づき「出席停止」の運用指針や、具体的な指導ガイドラインを早期に整備すべきだと考えるが、当局の見解を伺いたい。

答 教育委員会 委員会の開催不足が事態を招いた一因であることを認め、フオーロー体制を強化する。現在は警察との連携や令和6年度導入のスクールロイヤー制度を活用し、事案の深刻度に応じた段階的な対応を行っている。今後は、他自治体の事例も参考に、現場の教員が無理なく判断できる出席停止に関する運用指針の策定を検討する。全ての生徒が安心して学べる教育環境を保障するため、学校と協力して実効性のある対策に取り組んでいく。

質問 南海トラフ地震による鏡野町への影響は



南海トラフ地震単体では大きな被害は想定されていない

答弁 一括方式



植木 卓 [うえきた たく] 議員

問 鏡野町は、地震を誘発する断層を有した地域であり、各断層からの地震発生や生活環境に与える影響は。

答 町長 奈義町から鏡野町へ至る那岐山断層帯の地震では、震度6強の地震が想定され、建物全壊126棟、死者数8人、最大避難者数1242人と想定している。また、鳥取県東部から鏡野町へ至る大立断層・田代峠―布江断層でも震度6強の地震が想定され、建物全壊50棟、死者数3人、最大避難者数952人と想定している。

問 今回のシミュレーションのような被害状況が発生した場合、備蓄や避難場所、被害者への対応は十二分な体制が構築出来ているか。

答 危機管理監 B&G財団の防災拠点倉庫、ふれあい

運動公園の倉庫、みずの郷倉庫、各振興センターなどに水や食料等を備蓄している。各家庭で最低3日間の備蓄の推進の啓発をしていく。また、広域協力協定に基づく支援体制確保に取り組んで行く。

問 災害発生時に町伝達手段は。

答 町長 令和8年3月17日から運用を開始したポータルアプリがあり、町から防災情報に限らず、行政サービスに係る暮らしの情報等をプラットフォームで、J-ALERTシステムや既存の情報伝達ツールとも連携させる。今後、多言語機能の付加など幅広く運用することで、災害時対応に効果があるかと考えている。



質問 ふるさと納税の返礼品確保に向けた取組は



地場産品の充実と担い手確保に一体となって取り組む

答弁 一問一答方式



竹下 桂輔 [たけした けいすけ] 議員

問 共通返礼品に指定されている米・ブドウ・桃・梨・県産牛の5品目は人気が高いが、

答 産業観光課長

問 返礼品の中で米が寄附額・件数ともにトップということ、鏡野町の米の強みを改めて感じた。一方で返礼品に県内産を充当する話も出ていたが「鏡野町産」としてのブランドを築くうえで、町内産にこだわることも大切ではないか。

答 町内産のブドウや米の確保はもとより、「共通返礼品」制度を活用し、県産の桃・梨・牛肉等の取り扱いについても事業者へのアプローチを強化する。部署間の「横の連携」を密にし、担い手確保や特産品の磨き上げに一体となって取り組む必要があると考える。

問 地元事業者の高齢化により、ブドウや米など地場産品の確保が課題になると思われるが、解決に向けた取組は。

答 町長



▲百谷の棚田

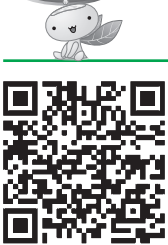
問 鏡野町の米は、瀬戸内海へと注ぐ川の源流の清らかな水と昼夜の寒暖差に恵まれ、市場でも高い評価を受けている。返礼品として「町産米」にこだわれない理由は。

答 産業観光課長

県産米を活用することで町産米を減らすということではない。現状は倉庫の確保や袋詰めなど商品化へのハードルが高く、提供量が限られている。今後は関係団体・関係部局と連携し、町産米の提供量増加に向けた取組を実施する。

他自治体と比べ鏡野町はまだ潤沢な在庫を持つには至っておらず、これが寄附額の差になっている。中間業者と連携し、事業者訪問を継続する。

質問 待機児童の現状は



待機児童は昨年と同様の人数になる見込み

答弁 一問一答方式



小椋 明美 [おぐら あけみ] 議員

問 令和8年度入園児童数は。

答 町長

約370名を予定している。

問 待機児童の人数と定義は。

答 町長

待機児童数は4月1日時点で算出するので答えられない。定義は、特定の園を希望する方や育休中の方などを除いた人数を指す。

問 実際に申し込んだ児童数は。

答 子育て支援課長

申込児童数は約430名。

問 広域保育事業は増額予算となっているが、何名予定しているか。

答 子育て支援課長

在8名が勤務しており、保育士が職務に専念できる環境を整えている。

問 地域限定保育士制度についての考えは。

答 町長

地域限定保育士制度を導入できるように、条例改正等の準備も進めている。

問 無資格でも働ける補助員の導入状況は。

答 町長

採用年齢を50歳まで引き上げ、年3回の募集で2名を採用した。





鏡野町議会を傍聴してみませんか!!

本会議・常任委員会・全員協議会のYouTube配信をしています。

次回定例会の日程（予定） **詳しくはホームページなどで確認してください。**

と き	主な内容
令和8年6月3日(水) 10:00~	議案の提案理由の説明

※その他の日程は未定のため、5月末以降にお問合せください。

【お問合せ先】 議会事務局 0868-54-2926



- 「広報特別委員会」**
- 委員長 鈴木 大介
 - 副委員長 難波 達男
 - 委員 片田八重美
 - 委員 牧田 俊一
 - 委員 小椋 明美
 - 委員 竹下 桂輔
 - 委員 植木 卓

よう やりようるなあ〜♪ 第29回 香北地区「むらづくり祭り」

■日 時：令和8年3月8日(日) 9時半から開会

■場 所：旧香北小学校

小雪舞う空の下「むらづくり祭り」がもよおされ、子どもからお年寄りまで、笑顔あふれる一日となりました。

会場では「有遊クラブ」が焼く、やさそばのソースの香ばしい香りが立ちこめ、手作りコンニャクの販売も大盛況。演舞や吹奏楽に合唱も華を添え、消火体験では子ども達が真剣な表情で水を放ち、消防活動を身近に感じる貴重な機会となりました。

昼は心も体も温まる豚汁がふるまわれ、最後は餅投げ。皆さん夢中になって手を伸ばしていました。

実行委員長の三木敬臣さんにお話を伺いました。

「この祭りを続けてきたのは、互いが助け合う雰囲気大切にしたいから。顔を合わせつながり深める場なんです。こんなにたくさんの人が集まって笑顔を見せてくれたら、本当にやってよかったと思います。」また香北の魅力を聞くと



「人が良くてみんな友達みたいなところ。」と即答。地域の温かさが端々から伝わってきました。一方で「後継者がいないことが今後の課題。」と未来への思いも語っていただきました。

人口減少が進む、この地で続けられてきた祭り。それはただのイベントではなく、人と人がつながり、支え合い、未来へと希望をつなぐ大切な営みです。

来年もまたこの場所でたくさんの笑顔に出会えますように。

シリーズ⑳ 議会用語

議会や議員、行政に関する用語をわかりやすく解説します。

附帯決議とは？

議会または委員会における審議の対象である事件の議決に当たって、その事件についての運用上の努力目標や注意事項などを盛り込んだ決議のことをいいます。決議に法的な拘束力はありませんが、委員会・議会の意思表示となります。

今号では、鏡野町運営の骨格となる令和8年度当初予算の審議結果を中心に、私たちの暮らしにどう関わるのかを詳しく載せています。

広報特別委員会では、「むずかしい言葉をわかりやすく、大切な情報をしっかりと。」を心がけて編集にあたっていきます。これからも皆様の声に耳を傾け、わかりやすい情報発信に努めてまいります。

(小椋明美)

編集後記

里山が鮮やかな緑に染まり、あちこちの水田に水が張られ始めました。この時期特有の、水面に空が映り込む美しい景色は、わがまちの宝だと改めて実感します。